

白 監 査 第 24 号  
令 和 5 年 8 月 28 日

白老町長 大 塩 英 男 様

白老町監査委員 野 本 裕 二



白老町監査委員 及 川 保



令和4年度白老町水道事業会計決算に係る審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和4年度白老町水道事業会計決算について、審査の結果、別紙のとおり意見書を提出いたします。

令和4年度

白老町水道事業会計決算審査意見書

---

白老町監査委員

	目	次	
第1	審査の対象	.....	1
第2	審査の期間	.....	1
第3	審査の方法	.....	1
第4	審査の結果	.....	1
第5	審査の内容	.....	2
1	事業の概要	.....	2
2	予算の執行状況	.....	3
	(1) 収益的収入及び支出	.....	3
	(2) 資本的収入及び支出	.....	4
3	経営成績	.....	5
	(1) 経常収益の内訳	.....	5
	(2) 経常費用の内訳	.....	6
4	財政状態	.....	7
	(1) 資産	.....	7
	(2) 負債	.....	7
	(3) 資本	.....	8
5	キャッシュ・フロー計算書	.....	8
6	経営分析と財務分析	.....	8
	(1) 経営内容分析	.....	9
	(2) 財務分析	.....	9・10
別表			
	別表1 比較損益計算書	.....	11
	別表2 比較貸借対照表	.....	12
	別表3 比較キャッシュ・フロー計算書	.....	13
	別表4 比較経営分析表	.....	14

# 令和4年度白老町水道事業会計決算審査意見書

## 第1. 審査の対象

令和4年度白老町水道事業会計決算

## 第2. 審査の期間

令和5年7月20日から8月25日までの間

## 第3. 審査の方法

決算の審査にあたっては、町長から審査に付された決算書類及び財務諸表並びに付属書類が適法に作成され、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか否かを検証するため、関係諸帳簿等を照合確認するとともに、関係職員の説明を求め、計数の正否、法令上の適否について審査を行った。

## 第4. 審査の結果

審査に付された令和4年度白老町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は正確であり、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

本事業における経営の状況は、決算収支等からおおむね健全な状態にあると認められます。

## 第5. 審査の内容

### 1. 事業の概要

本年度の業務等の実績を前年度と比較すると次表のとおりである。

業務実績表

区 分	単 位	令和4年度	令和3年度	比較増減		増減率 C/B (%)
		A	B	A-B	C	
行政区域内人口	人	15,565	15,876	△311		△2.0
給水区域内人口 D	人	15,452	15,769	△317		△2.0
給水人口 E	人	15,378	15,689	△311		△2.0
給水普及率 (E/D)	%	99.5	99.5	0.0		0.0
給水区域内世帯数	戸	9,174	9,202	△28		△0.3
給水世帯数	戸	9,128	9,154	△26		△0.3
導送配水管延長	m	307,621	306,761	860		0.3
年間総給水量 F	m <sup>3</sup>	2,114,974	2,138,241	△23,267		△1.1
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	5,794	5,858	△64		△1.1
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	6,926	6,820	106		1.6
年間有収水量 G	m <sup>3</sup>	1,599,636	1,622,118	△22,482		△1.4
職員（正職員）数	人	7	7	0		0.0

本年度末における給水人口は、15,378人で、前年度と比較して311人(2.0%)減少し、給水世帯は9,128世帯で、前年度と比較して26戸減少している。

給水普及率は99.5%となり、前年度と同率である。

年間総給水量は、2,114,974 m<sup>3</sup>で、前年度と比較して23,267 m<sup>3</sup> (1.1%)減少し、年間有収水量は1,599,636 m<sup>3</sup>で、前年度と比較して22,482 m<sup>3</sup> (1.4%)減少している。

当年度の建設改良事業は、北吉原・虎杖浜地区の老朽管更新、虎杖浜第1浄水場の導水管補修工事のほか、虎杖浜第2浄水場シーケンサの更新、2号井ポンプ取替、水道施設計器類等の更新工事を実施している。

## 2. 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入および支出の執行状況は次表のとおりである。

収 入 (単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
水道事業収益	363,394,000	368,378,496	4,984,496	101.4
営業収益	314,500,000	318,547,482	4,047,482	101.3
営業外収益	48,893,000	49,831,014	938,014	101.9
特別利益	1,000	0	△1,000	0.0

収入は、水道事業収益の予算額 3 億 6,339 万 4 千円に対して決算額は 3 億 6,837 万 8,496 円で、予算額に対して収入率は 101.4%、498 万 4,496 円増加している。

支 出 (単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	357,051,000	349,462,293	7,588,707	97.9
営業費用	333,963,000	328,092,523	5,870,477	98.2
営業外費用	22,130,000	21,217,799	912,201	95.9
特別損失	188,000	151,971	36,029	80.8
予備費	770,000	0	770,000	0.0

支出は、水道事業費用の予算額 3 億 5,705 万 1 千円に対して決算額は、3 億 4,946 万 2,293 円で、予算額に対して執行率は 97.9%、758 万 8,707 円の不用額となっている。

なお、特別損失 151,971 円については、過年度水道料金の還付分である。

## (2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は次表のとおりである。

収 入 (単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	予算額との比較	収入率
資本的収入	50,000,000	50,000,000	0	100.0
企業債	50,000,000	50,000,000	0	100.0
建設改良補助金	0	0	0	0.0

収入は、予算額 5,000 万円に対して決算額は 5,000 万円で、企業債の発行によるものである。

支 出 (単位：円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
資本的収支出	233,905,000	222,465,500	11,439,500	95.1
建設改良費	154,269,000	142,930,310	11,338,690	92.7
企業債償還金	79,636,000	79,535,190	100,810	99.9

支出は、予算額 2 億 3,390 万 5 千円に対して決算額は 2 億 2,246 万 5,500 円で、予算額に対して執行率は 95.1%、1,143 万 9,500 円の不用額となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1 億 7,246 万 5,500 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,143 万 3,400 円、減債積立金 614 万 1,240 円、過年度分損益勘定留保資金 1 億 3,721 万 7,470 円、当年度分損益勘定留保資金 1,767 万 3,390 円で補てんされている。

### 3. 経営成績 (比較損益計算書は別表1のとおり)

本年度の経常収益は、3億3,748万842円となり、経常費用が3億3,171万4,330円で、当年度590万6,612円の経常利益で、特別損失14万100円を差し引くと、当年度純利益は576万6,512円となり、前年度と比較すると37万4,728円の減少となっている。

#### (1) 経常収益の内訳

(単位：円、%、税抜)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
営業収益	289,606,220	292,442,400	△2,836,180	△1.0
給水収益	286,746,620	289,213,400	△2,466,780	△0.9
受託工事収益	2,666,000	2,983,000	△317,000	△10.6
その他営業収益	193,600	246,000	△52,400	△21.3
営業外収益	47,874,622	48,880,019	△1,005,397	△2.1
受取利息及び配当金	29,638	13,530	16,108	119.1
長期前受金戻入	28,006,291	28,682,573	△676,282	△2.4
雑収益	19,838,693	20,183,916	△345,223	△1.7
特別利益	0	0	0	0.0
その他の特別利益	0	0	0	0.0
合計(経常収益)	337,480,842	341,322,419	△3,841,577	△1.1

経常収益の内訳については、営業収益2億8,960万6,220円と営業外収益4,787万4,622円で、前年度と比較して384万1,577円(1.1%)減少している。

営業収益の内訳は、給水収益が2億8,674万6,620円で、前年度と比較して246万6,780円減少、受託工事収益が266万6千円で、前年度と比較して31万7千円減少、その他営業収益が19万3,600円で、前年度と比較して5万2,400円減少している。

## (2) 経常費用の内訳

(単位：円、%、税抜)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
営業費用	317,760,031	320,065,178	△2,305,147	△0.7
給与費	61,056,343	58,504,955	2,551,388	4.4
原水及び浄水費	47,421,000	47,413,000	8,000	0.00
配水及び給水費	41,116,945	47,610,771	△6,493,826	△13.6
受託工事費	0	0	0	0.00
総係費	17,199,611	16,532,528	667,083	4.0
減価償却費	144,350,852	144,275,955	74,897	0.1
資産減耗費	6,615,280	5,727,969	887,311	15.5
営業外費用	13,814,199	15,015,931	△1,201,732	△8.0
支払利息及び企業債取扱諸費	13,814,199	15,015,931	△1,201,732	△8.0
雑支出	0	0	0	0.0
特別損失	140,100	100,070	40,030	40.0
合計（経常費用）	331,714,330	335,181,179	△3,466,849	△1.0

経常費用の内訳については、営業費用 3 億 1,776 万 31 円と営業外費用 1,381 万 4,199 円、特別損失 14 万 100 円であり、前年度に比較して 346 万 6,849 円（1.0%）減少している。

営業費用の内訳は、給与費 6,105 万 6,343 円、原水及び浄水費 4,742 万 1 千円、配水及び給水費 4,111 万 6,945 円、総係費 1,719 万 9,611 円、減価償却費 1 億 4,435 万 852 円、資産減耗費 661 万 5,280 円で、営業費用は前年度と比較して 230 万 5,147 円減少している。

営業外費用の内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費 1,381 万 4,199 円で、前年度と比較して 120 万 1,732 円減少している。

特別損失の内訳としては、過年度分水道料金の還付金で、前年度と比較して 4 万 30 円増加している。

4. 財政状態 (比較貸借対照表は別表2のとおり)

(1) 資産

(単位：円、%、税抜)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
固定資産	3,163,202,703	3,182,671,925	△19,469,222	△0.6
流動資産	271,930,042	277,635,519	△5,705,477	△2.1
資産合計	3,435,132,745	3,460,307,444	△25,174,699	△0.7

資産総額は、34億3,513万2,745円で、前年度と比較すると2,517万4,699円(0.7%)減少している。

資産総額の内訳は、固定資産が31億6,320万2,703円、流動資産が2億7,193万42円となっている。

(2) 負債

(単位：円、%、税抜)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
固定負債	996,305,848	1,029,928,654	△33,622,806	△3.3
流動負債	153,639,961	122,952,075	30,687,886	25.0
繰延収益	493,302,050	521,308,341	△28,006,291	△5.4
負債合計	1,643,247,859	1,674,189,070	△30,941,211	△1.8

負債総額は16億4,324万7,859円で、前年度と比較すると3,094万1,211円(1.8%)減少している。主たる要因は、企業債や引当金のほか繰延収益の減少によるものである。

### (3) 資本

(単位：円、%、税抜)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率
資本金	1,779,454,978	1,768,967,502	10,487,476	0.6
剰余金	12,429,908	17,150,872	△4,720,964	△27.5
資本合計	1,791,884,886	1,786,118,374	5,766,512	0.3

資本総額は17億9,188万4,886円で前年度に比較すると576万6,512円(0.3%)の増加となっており、未処分利益剰余金の処分によるものである。

#### 5. キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書の状況は、期首資金残高2億5,984万1,624円に対して、資金期末残高は2億5,657万7,341円となっており、資金増加額は326万4,283円減少している。

この内訳は、業務活動によるものが1億5,776万7,817円、投資活動によるものが△1億3,149万6,910円、財務活動によるものが△2,953万5,190円となっている。

本年度の前年度比較キャッシュ・フロー計算書は別表3のとおりである。

#### 6. 経営分析と財務分析 (比較経営分析表は別表4のとおり)

本年度における企業経営の健全性、効率性等を評価する主な指標の状況は、次のとおりである。

## (1) 経営内容分析

### ① 有収率

年間配水量に占める有収水量の割合で、施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標であり、本年度は、75.6%で前年度(75.8%)と比較して0.2%低下している。

### ② 施設利用率

1日配水能力に対する1日平均配水量の割合で、施設の利用状況や適正規模を判断する指標であり、本年度は56.2%で前年度(56.8%)と比較して0.6%低下している。

### ③ 負荷率

1日最大配水量に対する1日平均配水量の割合で、施設の平均的稼働状況を表し100%に近いほど効率的であるとされている。本年度は83.6%で前年度(85.8%)と比較して2.2%低下している。

### ④ 供給単価

有収水量1m<sup>3</sup>あたりの給水収益の割合で、本年度は179.2円で前年度(178.2円)と比較して1.0円向上している。

### ⑤ 給水原価

有収水量1m<sup>3</sup>あたりの給水にかかる費用の割合で、本年度は189.7円で前年度(188.8円)と比較して0.9円向上している。

### ⑥ 料金回収率

給水原価に対する供給単価の割合で、本年度は94.4%で前年度(94.3%)と比較して0.1%向上している。この比率が100%を下回っている場合は、給水に係る費用を給水収益以外で賄っていることになる。

## (2) 財務分析

### ① 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合で、本年度は101.7%で、前年度(101.8%)と比較して0.1%低下している。この数値が100%を超える場合は、単年度の収支は黒字である。

② 自己資本構成比率

経営の安定性を示す総資本に占める自己資本の割合で、本年度は52.1%で前年度(51.1%)と比較して1.0%向上している。この比率が高いほど経営の安全性は大きいとされている。

③ 流動比率

1年以内に支払うべき負債(流動負債)に対する1年以内に現金化できる資産(流動資産)の割合で、この数値は100%以上であることが必要であり、本年度は176.9%で、前年度(225.8%)と比較して48.9%低下している。

別表 1

## 比較損益計算書

(単位:円、%)

科目	年度		令和4年度		令和3年度		増減額
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	
営業収益							
給水収益	289,606,220	△ 0.97	292,442,400	△ 0.50	△ 2,836,180		
受託工事収益	286,746,620	△ 0.85	289,213,400	△ 0.83	△ 2,466,780		
その他営業収益	2,666,000	△ 10.63	2,983,000	43.70	△ 317,000		
営業外収益	193,600	△ 21.30	246,000	18.27	△ 52,400		
受取利息及び配当金	47,874,622	△ 2.06	48,880,019	2.31	△ 1,005,397		
長期前受金戻入	29,638	119.05	13,530	5.05	16,108		
雑収益	28,006,291	△ 2.36	28,682,573	△ 2.07	△ 676,282		
合計 (経常収益)	19,838,693	△ 1.71	20,183,916	9.26	△ 345,223		
営業費用	337,480,842	△ 1.13	341,322,419	△ 0.11	△ 3,841,577		
給与	317,760,031	△ 0.72	320,065,178	1.70	△ 2,305,147		
原水及び浄水費	61,056,343	4.36	58,504,955	1.57	2,551,388		
配水及び給水費	47,421,000	0.02	47,413,000	△ 0.31	8,000		
受託工事費	41,116,945	△ 13.64	47,610,771	30.52	△ 6,493,826		
総係費	0	0.00	0	△ 100.00	0		
減価償却費	17,199,611	4.03	16,532,528	△ 1.24	667,083		
資産減耗費	144,350,852	0.05	144,275,955	△ 3.25	74,897		
営業外費用	6,615,280	15.49	5,727,969	△ 16.80	887,311		
支払利息及び企業債取扱諸費	13,814,199	△ 8.00	15,015,931	△ 8.93	△ 1,201,732		
雑支出	13,814,199	△ 8.00	15,015,931	△ 8.33	△ 1,201,732		
特別利益	0	0.00	0	△ 100.00	0		
特別損失	0	0.00	0	0.00	0		
合計 (経常費用)	140,100	40.00	100,070	0.00	40,030		
当年度純利益	331,714,330	△ 1.03	335,181,179	1.19	△ 3,466,849		
繰越利益剰余金	5,766,512	△ 6.10	6,141,240	△ 41.44	△ 374,728		
当年度純利益	0	0.00	0	0.00	0		
当年度未処分利益剰余金	5,766,512	△ 6.10	6,141,240	△ 41.44	△ 374,728		
その他の未処分利益剰余金変動額	6,141,240	△ 41.44	10,487,476	38.59	△ 4,346,236		
合計	11,907,752	△ 28.39	16,628,716	△ 7.90	△ 4,720,964		
減積立金 (案)	5,766,512	△ 6.10	6,141,240	△ 41.44	△ 374,728		
建設改良積立金 (案)	0	0.00	0	0.00	0		
資本金組入 (案)	6,141,240	△ 41.44	10,487,476	38.59	△ 4,346,236		
翌年度繰越利益剰余金 (案)	0	0.00	0	0.00	0		

別表2

## 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科目	資産の部			負債及び資本の部			
	令和4年度末 金額	令和3年度末 金額	増減 金額	科目	令和4年度末 金額	令和3年度末 金額	増減 金額
固定資産							
有形固定資産	3,163,202,703	3,182,671,925	△ 19,469,222	固定負債	996,305,848	1,029,928,654	△ 33,622,806
土地	14,681,958	14,681,958	0	企業債	909,700,999	939,246,654	△ 29,545,655
建物	201,079,641	207,342,036	△ 6,262,395	引当金	86,604,849	90,682,000	△ 4,077,151
構築物	2,744,855,987	2,775,374,529	△ 30,518,542	流動負債	153,639,961	122,952,075	30,687,886
機械及び装置	173,292,820	158,417,230	14,875,590	企業債	79,545,655	79,535,190	10,465
車両運搬具	3,328,768	4,435,103	△ 1,106,335	未払金	40,632,441	9,872,067	30,760,374
工具器具及び備品	10,985,629	10,923,169	62,460	前受金	0	4,302	△ 4,302
建設仮勘定	14,360,000	10,880,000	3,480,000	預り金	346,212	571,474	△ 225,262
無形固定資産	617,900	617,900	0	仮受金	28,263,653	28,638,042	△ 374,389
電話加入権	617,900	617,900	0	引当金	4,852,000	4,331,000	521,000
投資	0	0	0	繰延収益	493,302,050	521,308,341	△ 28,006,291
長期貸付金	0	0	0	長期前受金	766,351,167	767,319,340	△ 968,173
流動資産				長期前受金収益化累計額	△ 273,049,117	△ 246,010,999	△ 27,038,118
現金預金	271,930,042	277,635,519	△ 5,705,477	(負債合計)	1,643,247,859	1,674,189,070	△ 30,941,211
未収金	256,577,341	259,841,624	△ 3,264,283	資本金	1,779,454,978	1,768,967,502	10,487,476
貸倒引当金	15,952,701	18,252,550	△ 2,299,849	資本金	1,779,454,978	1,768,967,502	10,487,476
貯蔵品	△ 600,000	△ 458,655	△ 141,345	剰余金	12,429,908	17,150,872	△ 4,720,964
前払金	0	0	0	資本剰余金	522,156	522,156	0
	0	0	0	寄付金	46,656	46,656	0
				工事負担金	475,500	475,500	0
				利益剰余金	11,907,752	16,628,716	△ 4,720,964
				減債積立金	0	0	0
				建設改良積立金	0	0	0
				未処分利益剰余金	11,907,752	16,628,716	△ 4,720,964
合計	3,435,132,745	3,460,307,444	△ 25,174,699	(資本合計)	1,791,884,886	1,786,118,374	5,766,512
				計	3,435,132,745	3,460,307,444	△ 25,174,699
							△ 0.7
							△ 0.3
							△ 0.7

## 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減額
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	5,766,512	6,141,240	△ 374,728
減価償却費	144,350,852	144,275,955	74,897
資産減耗費	6,615,280	5,727,969	887,311
賞与引当金の増減額 (△は減少)	521,000	3,245,900	△ 2,724,900
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	600,000	458,655	141,345
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 4,077,151	0	△ 4,077,151
長期前受金戻入額	△ 28,006,291	△ 28,682,573	676,282
受取利息及び受取配当金	△ 29,638	△ 13,530	△ 16,108
支払利息	13,814,199	15,015,931	△ 1,201,732
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	0	0
未収金の増減額 (△は増加)	1,841,194	△ 872,443	2,713,637
未払金の増減額 (△は減少)	30,760,374	△ 28,502,205	59,262,579
たな卸資産の増減額 (△は増加)	0	0	0
その他負債等の増減額 (△は増加)	△ 603,953	△ 4,634,457	4,030,504
小 計	171,552,378	112,160,442	59,391,936
利息及び企業債取扱諸費	29,638	13,530	16,108
利息の支払額	△ 13,814,199	△ 15,015,931	1,201,732
業務活動によるキャッシュ・フロー	157,767,817	97,158,041	60,609,776
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 131,496,910	△ 122,358,348	△ 9,138,562
有形固定資産の売却による収入	0	0	0
国庫補助金等による収入	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 131,496,910	△ 122,358,348	△ 9,138,562
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	50,000,000	50,000,000	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 79,535,190	△ 76,074,787	△ 3,460,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,535,190	△ 26,074,787	△ 3,460,403
資金増加額 (又は減少額)	△ 3,264,283	△ 51,275,094	48,010,811
期首資金残高	259,841,624	311,116,718	△ 51,275,094
資金期末残高	256,577,341	259,841,624	△ 3,264,283

別表 4

## 比較 経営 分析 表

(経営内容分析)

区 分	算 式	令和4年度	令和3年度	増 減
有収率 (%)	$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	75.6	75.8	△ 0.2
施設利用率 (%)	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{配水能力 } \text{m}^3/\text{日}} \times 100$	56.2	56.8	△ 0.6
負荷率 (%)	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	83.6	85.8	△ 2.2
供給単価 (円)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	179.2	178.2	1.0
給水原価 (円)	$\frac{\text{経常費用 - (受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事務費) - 長期前受金戻入}}{\text{年間有収水量}}$	189.7	188.8	0.9
料金回収率 (%)	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	94.4	94.3	0.1

(財務分析)

区 分	算 式	令和4年度	令和3年度	増 減
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	101.7	101.8	△ 0.1
自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額+繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	52.1	51.1	1.0
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	176.9	225.8	△ 48.9

\*小数点第2以下切り捨て